



教室の窓辺

つなぐ かがやく 大清水

〜努力し続ければ 夢は叶う〜

豊橋市立大清水小学校

教諭 尾川 あゆ美

私は、教師になって6年間ずっと、「努力し続ければ 夢は叶う」と、学級の子どもたちに伝え続けてきました。子どもたちは無限の可能性をもち、いつも私の想像以上のパワーを発揮してくれます。最大限に努力した後の子どもたちの喜びや達成感は特別のものです。しかし、必ずしも達成できる目標ばかりではありません。大切なのは、仲間とともに努力し続けてきた過程です。その過程を教師が全力でサポートしていくこと、更にながらばりを全力で認めることで、その経験が子どもたちの自己肯定感を高め、「生きる力」につながるのではないかと考えます。

昨年度は、最高学年の6年生を担任しました。運動会の組体操で、大清水小伝統の集団行動や体操演技を引き継ぐと一生懸命に練習に取り組み、多くの人に感動を届けることができました。そんな中、「来年度は運動会の組体操がなくなるかも…」という問題に直面しました。しかし、「組体操でしか味わえない達成感や感動を、下級生にも味わってほしい」という子どもたちの強い思いを受け、体育主任でもある私は、組体操の基礎になる体育のマット運動の楽しさを、これ

まで以上に全学年に広げたいと考えました。

そして、大清水小で初めての、6年生によるマット運動発表会「MTO（マットオリンピック）」を企画し、実践しました。MTOでは、6年生が全校から大きな拍手を受けました。辛いことも楽しいことも、同じ時間を共有してきたからこそ、子どもたち同士の絆も強まりました。達成感に満ち溢れた子どもたちの姿は一生忘れられません。

今年度は、5年生を担任しています。学級開きをしてすぐに、子どもたちが、「今年もMTOやるの?」「6年生がやっていたかっこよかった。感動したから私たちもやってみよう」と言い出しました。そこで、学芸会でのマット・跳び箱運動発表「夢りんピック2019」を計画しました。学芸会当日は、「辛いこともあったけれど、がんばってきたてよかった」という声が聞かれました。昨年度の6年生のがんばりが全校の子どもたちの心を動かし、6年生が残した組体操とMTOを、今年度の5年生が「夢りんピック」として大清水小学校につないだことをうれしく思いました。

私が目指す教室は、厳しく指導されることもあるけれど、優しさ、温かさの溢れる教室。大きな声で笑い合う中で、真剣さ、前向きさが溢れる教室。何事にも全力で挑戦する、やる気溢れる教室です。私は、子どもたちを信頼し、全力で子どもたちと向き合うことを大切にしています。

そして、何よりも子どもたちには感謝の気持ちでいっぱいです。「努力し続ければ 夢は叶う」と、これからも大好きな子どもたちとともに、大清水小学校をつないでいきます。子どもたちがこれからも、もっとと輝きますように。



学芸会「夢りんピック2019」大成功!

「学校大好き」の第一歩は「先生大好き」です。5年担任、体育主任である尾川先生は信頼される人気者の教師です。熱心で温かい学級経営や実践が学級をつないでいるのはもちろんのこと、学年をつなぎ、学校をつなぎ、地域をもつないでいます。

「挑戦したい!」子どもたちの思い、「楽しい!」魅力あふれる教材、「あきらめない!」努力に対する粘り強い支援、そして、「できたね!」と、ともに喜ぶ教職員の取り組みが、笑顔輝く大清水小学校の子どもたちを育てています。

(校長 北沢 陽子)